

令和7年度 1学期始業式 定時制 校長式辞

みなさん、新学期が始まりましたね。新しい学年に少し緊張しながらも、「これからどんな日々が待っているんだろう」と期待している人も多いのではないのでしょうか。みなさんがこうして元気に集まってくれたことを、とてもうれしく思います。

さて、今日はメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の「ゴミ拾い」のエピソードを紹介したいと思います。大谷選手は、練習中でも試合中でも、自分からすすんでゴミを拾うことで知られています。誰かに言われたからではなく、自分で気づき、考え、行動しているのです。世界のトップで活躍する選手が、こんな小さなことを大切にしているのは、とても印象的ですよね。

これは、私たちの学校生活にも当てはまります。本校は、各学年たった1クラスしかありません。だからこそ、お互いをよく知り、支え合いながら過ごしていくことが大切です。でも、それは「誰かがやってくれるだろう」ではなく、「自分から動こう」という気持ちがあってこそ成り立ちます。たとえば、落ちているゴミを拾うこと、授業でわからないことをそのままにせず自分で調べたり先生に質問したりすること。

また、困っている人に気づいて声をかけることも大事です。授業でノートを取り損ねた友だちに貸してあげる、体調が悪そうな人に「大丈夫？」と声をかける、普段とは違った様子の友人に「なにかあっとの？聞くよ」と話しかける。そんな小さな行動が、クラスの雰囲気を温かくし、みなさん自身の成長にもつながっていきます。

この1学期、ぜひ「自ら考え、判断し、行動する」ことを意識してみてください。そして、お互いに協力しながら、楽しく充実した学校生活を作っていきましょう。

みなさんの活躍を楽しみにしています。